

学生・教職員における健康管理についての再度の注意喚起

1. 風邪症状や発熱（平熱より高い）、味覚嗅覚異常など体調不良時は以下の通り連絡してください。

1) なんとなく体調が悪い時（風邪のような症状がある場合）

以下の**症状のうち一つでもある時は登学・出勤はできません**。自宅待機の上、mailで保健室まで連絡をしてください。 hoken@kuins.ac.jp（大学保健室）

- ① 熱がある（平熱より高い）
- ② 咳が出る
- ③ 喉が痛い
- ④ いつもより体がだるい（倦怠感）
- ⑤ 頭痛がある
- ⑥ 腹痛
- ⑦ 下痢
- ⑧ 吐気・嘔吐
- ⑨ 鼻汁・鼻閉
- ⑩ 味覚や嗅覚に異常がある

* 37.5度以下の発熱でも上記の症状があれば登校できません。

mailには以下の内容を必ず記載してください。

- 学籍番号と学生名、教職員の場合は所属と氏名
- 保健室から連絡がすぐに受け取れる連絡先（本人・保護者の電話番号など）
- 簡単に症状等記載

2. 症状が続く、あるいは悪化した時

以下のいずれかの状態になった場合には、下記の通り行動してください

- (ア) 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- (イ) 重症化しやすい方（※）で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患などの基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- (ウ) 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
（症状が4日以上続く場合は必ず相談してください。症状には個人差があります。強い症状と思う場合はすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です）

- 1) 居住地の帰国者・接触者相談センターへ連絡する。（市町村によって名称は異なります）
自力で動けないなど症状が強い時は、すぐに救急車を要請してください。

- 2) 大学の保健室にも必ずmailで報告をする。 hoken@kuins.ac.jp（大学保健室）

mailには以下の内容を必ず記載してください。

- 学籍番号と学生名、教職員の場合は所属と氏名
- 保健室から連絡がすぐに受け取れる連絡先（本人・保護者の電話番号など）
- 簡単に症状等記載

3. 同居人がいる場合について

- ①同居人が感染した場合
- ②感染の疑いがある時（濃厚接触疑い・感冒症状など）

すぐに、大学の保健室へ mail で連絡をしてください。 hoken@kuins.ac.jp（大学保健室）

4. 3密に関連して特に注意すること

- 1) 「15分以上マスクを外すことがないように注意すること」だけでなく「特に危険なのは食事の時である」という意識を十分に持ち、行動する
- 2) 濃厚接触者の定義が、1m以内、15分以上となっている
感染症予防対策を行わなかった場合に、濃厚接触者とみなされるため、登校できなくなる可能性もあることから、注意が必要である
- 3) 密室でのゼミやカンファレンスは、濃厚接触者となるので注意が必要である